

Title	京都帝國大學新聞 第5號
Author(s)	
Citation	京都帝國大學新聞 (1925), 5
Issue Date	1925-06-15
URL	http://hdl.handle.net/2433/198506
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

末廣重雄

彼等が迎合する爲めに、心にない見えず、行動も人々連へて、眞に彼等の前途を考慮し、之れを尊重する誠意を以て彼等の爲めに苦を吐く人々を憐れみ、大抵である。聞くのは細明、次第であらざるばならぬ。斯かる状態に於て心ある學生は、體面のため、一般學生の信を驚くもの出来ないのは單なる當然のことであらう。眞に教育は出得るものと云ふに、如き其の理は何れもよく知らぬに、誠に苦しい限りである。多年斯かる分科、年々於て、學生は之れに禮儀を辨ず、放恣な行動に流るゝも、然るものも止むを得ない所であつて、甚だしきを得るに暴慢不遜、以て學得意とするものさへある。學生なるもの故に、以て無禮や無法は許容せらるゝ。

工學部助教授 松田長三郎

見し、事は眞に屈辱に取るに足らぬ精神事件ではあるが、其の精神を頑道強志に思ふたのである。内此の精神ある時、あつて外に懸れる。此の場合も畢竟其のだしたしな是れ精神の單一の表はれ過ぎなかつたのである。うせめては新學年を勞働に於て、少し緊張した心持で居てはしいものであるとつくづく思つたのであつた。

私は宣誓式は只通り一遍の年中行事として總長の訓示と學生總代の誓紙一片の朗讀みに終らせたくはない。形式よりも實質に、各自が自ら内に省み、假令暫しなりとも面目に立つかつて、將來學生として隨ひて正しき道を進む體裁を、各自に覺悟して初めて宣誓式意義がある。考へる、私私の心見てもすれば必ず勝ちになる

見、事は眞に屈辱に取るに足らぬ精神事件ではあるが、其の精神を頑道強志に思ふたのである。内此の精神ある時、あつて外に懸れる。此の場合も畢竟其のだしたしな是れ精神の單一の表はれ過ぎなかつたのである。うせめては新學年を勞働に於て、少し緊張した心持で居てはしいものであるとつくづく思つたのであつた。

私は宣誓式は只通り一遍の年中行事として總長の訓示と學生總代の誓紙一片の朗讀みに終らせたくはない。形式よりも實質に、各自が自ら内に省み、假令暫しなりとも面目に立つかつて、將來學生として隨ひて正しき道を進む體裁を、各自に覺悟して初めて宣誓式意義がある。考へる、私私の心見てもすれば必ず勝ちになる

河上肇

二語は、「さうならぬ」と「まづならぬ」といふ等だと信じてゐる。それと資本論の冒頭の *beginning of man's history* なる一語とは、時に引用符が施してあり、さうしその脚註には経済學批判への参照があるのである。それを參照しても、同じ言葉がそれに既に使はれてゐるといふだけ、他に何事もないけれども、しかし、他が此の二語を、殊に如く大括弧に括めてゐるのをみると、何か其中に深い意味があるに相違ない。それに相違ないと思ふが、さき其れは今否々といふことが出来ない云々。

× × ×

私が斯様な意味の話をした時、前日朝刊が來たので、私友人のＴ君が来てくれた。私は開門のまに打撃で、隆いた會話書讀頭の一旬につきて、吾々の資本論の話をしてくれた。私は書き添へるのを要請する。茲に私は書き添へるためか、當時私が特別愉快を感じてゐたことを、手紙の序の言葉に、簡單に言ひら

即ち資本主義の法に、試に節を出し見せろ、それなど、らしい商品の生産は皆な富んでゐる、それが千種萬類の商品、おそろしく澤山な商品、それが其々各々の生産部門に分屬して、雖然ながら、おのづから系統つられ、個々の商品と品類全體との一致として、吾々眼前に見現はてるのである、等の意味が、先きの二語は *because of the fact* のうちに含まれてゐる云々、之れがＴ君の説明の一端であるが——この二語の固有の意味につき、その仔細を詳述するには、やはり可なり多くの行動を要するから、しばらく茲に略す。――私はこれを聽かぬから、例へばそれはやであらう感じた。資本主義の序の言葉を簡單に言ひら

法學部教授 田村 徳弘

[illegible]

知識に於いて勝れてからだと言ふ理窟である。氏

なるものたるは、必しも氏類でないことゝなる。要するに知識に於て立つ者は、又知識上非難を受け而して知多寡は、氏の基趣を問ひに關しないのであるから「術器」を知り、目知り、物象を知り、原理を知り、原則を知ることあるは、氏の趣旨でないことは、明かである。是れはじつからこの方面で論じた方がよいと思ふ。只知識の考へるべきところと詰るべきは、いけれども深く知的に進むことは、必ずこれに戒めねばならぬ。然らざればかくの如き者は、飛んでいくなことを力を入れられしふことになる。

現に氏に胸を展いて貰つた五十五歳の青年を見るに、小學校の教師として見られる人々三者の基趣は、要領よりかりに反し、只理窟のことで頭を得ようとする三高あたりの學生に格別な愛着をもち、要するに氏は

人類もまたやうに齟齬革まると、皆人間であると考へてゐる。けれどその考への基礎は、やはりそれでは、等しく精神のなり成り、從つて大自然の二種の子であるからであると言ふに在る。私はかゝる言ひ論法は、餘り粗率で、技巧巧で、氏自身も覺つておられ、拙の信を以て言ふかと、疑はれることと思ふ。言葉を以て罪惡と考へること、私好なき罪惡と考へること、病氣を以て罪惡と考へるは、病氣になつたのは自己の修養の至らなかつた爲であるとの、自責の感であらねばならぬ。然るは素より高邁嚴肅なもので同類の人々とともに盛み、亦其の好きな考へ方である。けれど其の同胞と考へるの基趣は、此等の物に人格を感じ、和樂共有意義を體得した共同理想を抱くのである。二者は、其の相違を認めねばならぬ。人はさうであるが、社會は持つてあることと思ふ。愚者は果して致すかと、憂鬱と悲苦とを果して致すかと、更に愛護と人道と果して一致するか否か。若其の何れに矛盾をもとりすれば、其の何れを探るか。其の何れのものか、人の最善理想の想あらねばならぬ。此等の疑問は、純粹に理論的に決せられて置か問題で、決して思ふ込に決すべきものではなかつた。私は此の疑問に對して迄に全意の付けたる間に、自分或程度進歩した行かぬといふ點を見出さずしては行かない。

從來私は、學問は人格の反映であるといふことを、堅く信じて居た。人格の大なるものは、學問の作品（無論人の科學に限らず）のみに就いてであるが、唯大でなく、誠實で、謙虚で、よきものである。

into the habit of looking

「meaning」としては然るといふよりも、あるまじうの二つのドイツ語に固有することゝ、味と響けと感と聯想と、他の語を以て換へることの出来ないものがある。マルスは此二語を以て動かさずから置かれたが故に、さうして其れは始めて經濟批判の冒頭に用いたるが故に、さてこの資本論の冒頭に再び此二語を用ふるや、特許權に引用符を以てし、かねて舊著に参照したものであらうか、かく解して求めたゞ資本論冒頭の一行が、活きてゐると吾々にやまつて来る。果して偉大な著作書出しは隨で輕々には扱はれない。

× × ×

私は若クサスキンの讀本體を読みながら、彼及びいふ通であらうとは半ば思ひながら、今は半ばは其の意を解釋することが出来なかつた。それだけに、therefore of capital I tell you, therefore into the habit of looking independently at words, making assurance of their meaning, syllable by syllable—my letter by letter...といふ文を以て始める彼らの精讀である。私はラスキンが、そのいふ人でないことを信じてゐる。しかし、偉大な著作を讀む人には、綴りを追うて讀め、否なら文字を一つづつ拾うて讀め、と説教に至つては、彼がたとひ熱心且つ誠實を以て（私はこの點において正しく）これを知らぬや、諸君が告げる云々と言つてゐるに拘らず、私は彼れと言ふところを理解することが出来なかつた。今本論冒頭の一句に含まる、the intricate pattern of his meaningなる一語につきや正確な意義を理解できやうと私秘めて、ラスキンの人を働かせるのを學んだ。否なら人に示すことの極めて深いことに驚いた。

木下

目覺せる民衆に開放せる唯一の高等教育機關

懷德堂 百科通俗講演集

第一輯 定價金拾圓 預約金貳圓

一度編譯改正に件ふ格統一に就て 工學博士 本野 亨
三太 炭礦業と坑夫生活 工學博士 新誠 健藏
三太 炭礦業と坑夫生活 工學博士 井田 健藏
三太 炭礦業と坑夫生活 工學博士 井田 健藏
三太 炭礦業と坑夫生活 工學博士 井田 健藏

懷德堂 文科學術講演集

第一輯 定價金拾圓 預約金貳圓

現代教育思潮批判 文學博士 原 勝郎
現代教育思潮批判 文學博士 原 勝郎
現代教育思潮批判 文學博士 原 勝郎
現代教育思潮批判 文學博士 原 勝郎
現代教育思潮批判 文學博士 原 勝郎

發行所 大阪寶文館

發行所 大阪寶文館

優秀なる室内裝飾と家具

京都市寺町通松原北入ル
河瀬商店裝飾部
電長下四八番

根野富太郎共編

背皮天金最上特製
菊判總紙數二千二百頁

著作の權威

植物學界の權威として世界的知名の牧野先生及分類學者として篤學を以て斯界に知られたる根本兩先生が該博の知識と多年の蘊著を傾注し二十年間の苦心大作、エンケレルのフランチエンライヒに比肩すべき明治大正の植物學の一大文獻

刊行の趣旨

本書刊行の目的は著者が二十有餘年苦心研究の發表にありて全然書肆の手を煩さず從て營業的打算を以て市場に販賣するものに非ず篤學家の希望に應ずる爲め豫約方法により會員を募集し頒布すべき部數に限り刊行するものなれば今回の提供を以て最後とせらるべし。此の唯一無二の好機を逸せざらん事を

本書の内容

記載する處の内外植物種類無慮一萬二千種近世界に於ける最新の分類法により一大系統を創設し檢索表を附し原名、和名の索引を以て内容を整頓したるを以て大なる日本植物の戸籍臺帳にして植物研究の六法全書と見るべし

御申越 内容見本 進呈

FLORA OF JAPAN 日本植物總覽

豫約 七月十日限 申込所 日本植物總覽刊行會
東京市本郷區西片町十番地
預約申込者に限り頒布
刊行期日 大正十四年九月一日
定價金貳拾圓 預約金拾圓
預約者は申込金五圓拂込みのこと
殘額金拾五圓は刊行當日迄に拂込みのこと
此外送本料を要す

海軍中佐 松原雅太

ブルトローゼ 小瓶半月分
大瓶一月分
金三圓二錢五分

病、小 効弱、
進劑

ブルトローゼ 小瓶半月分
大瓶一月分
金三圓二錢五分

ブルトローゼは人膽汁腺等に分泌せらるる消化要素と同一物なり故に吸收迅速として血球新陳代謝を刺激し作用を増進せしめ又一般組織の發及代謝機能を亢進せしむるのみならず食欲を促進の筋力を強實にし精神を旺盛ならしむるに其味芳美にして服用久しきに渉るも絶無副作用なり老幼婦人も極めて快く服用し得らる。是則ち醫藥學大家等しく推賛せざる所にて補血強壯劑中他に優れる類似品なき所以なり。

砒素の少量を持久服用する時は脂肪組織が肥厚し皮膚醜陋となり赤血球並血色素の新生を進ませられ著しく發育が佳良ならむものにして神經性諸病及び皮膚慢性疾患等に著効を有す。されば單味ブルトローゼに拘合したるものなれば其効果愈顯著なり。而して服用極めて容易にして既に臨床試驗著

記念として「薬物學雜誌」を發

偏癆病
 化症、
 に卓効
 進劑

單味プルトリゼの著効は前述の如くなるも更に之れにヨードを結合せしめて腺泡質細胞管腔中微毒性食鹽等に効果を收め得るやうに製出するものにしてヨードの人體に吸収せるやうに甲狀腺の特長成分を増加するこの新陳代謝を盛ならしめ且腺泡を縮小さしめて病的組織を破壊し位置を補正し筋力を強化する、而して著効甚だ故に服用極めて容易にして且絶對副作用を有せず。

大瓶一 金二分五十錢
 小瓶一 金一分

洲本のサムマーハウス

解を抑制し且健胃劑として
ナブルトーゼは即ち此キノ
ルトーゼに結合せしめ以て
層倍加せしめたるものなり
れば老幼と雖も服用極めて
用なく貧血諸病營養不良等
著し。

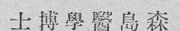
光明姫、白砂連なり千

進劑

嗽を鎮靜し、咯痰を減じ、高度の食欲亢進作用を有し、體重を増加する等の特長のグアヤール劑に屬せり。而して芳苦甘味を有するが故に小兒に雖も口に快く服用極めて容易なり。

ナルゼンブルトゼに限り法規に依る買受證を徴せらるべし。

地藥店 說明書 進呈



一

大瓶一月分
金三圓五十錢

めは前述の如くなるも更に之
め以て腺結質諸症就中微毒
得るやう製出せるものにし
せざるゝや甲狀腺の特殊成
陳代謝を盛んならしめ且腺
織を恢復し體質を補益し筋
芳香甘味なるが故に服用極
副作用を有せず。

運2

解を抑制し且健胃劑として
ナブルトーゼは即ち此キノ
ルトーゼに結合せしめ以て
層倍加せしめたるものなり
れば老幼と雖も服用極めて
用なく貧血諸病營養不良等
著し。

影が
開く

高度の食欲亢進作用を有し
のグアヤコール劑に冠絶せ
る有するが故に小兒と雖も口
なり。



各

タタタタ等

單味フルトゼに可溶性グアキョールを蛋白質質の媒合に依り拘合せたものであるものに對し刺激性は強健性には有せざらば口に飲食道に害せざるは藥より胃腸を害するに全くなく、腹收速くにし、喉嚨を閉鎖し喀痰を減じ高度の食慾并潤作用を有し體重を増加する等點のグアキョール調剤に屬せり。而て芳香味有するが故に小兒に難くも口に快く服用極めて容易なり。

金五圓五十銭

ケムブリッチでの日記から

文部部教授 三浦周行

ケムブリッチの日記から
文部部教授 三浦周行
ケムブリッチの日記から
文部部教授 三浦周行
ケムブリッチの日記から
文部部教授 三浦周行

奈良遠乗

日笠邦輔

奈良遠乗
日笠邦輔
奈良遠乗
日笠邦輔
奈良遠乗
日笠邦輔

日本短歌史序説

山崎敏夫

日本短歌史序説
山崎敏夫
日本短歌史序説
山崎敏夫
日本短歌史序説
山崎敏夫

西洋史讀書會

西洋史讀書會
西洋史讀書會
西洋史讀書會
西洋史讀書會

星夜の櫻

石川忠治

星夜の櫻
石川忠治
星夜の櫻
石川忠治
星夜の櫻
石川忠治

季節の窓

湯川眞沙路

季節の窓
湯川眞沙路
季節の窓
湯川眞沙路
季節の窓
湯川眞沙路



安住がと線香

夏の生活

安住がと線香

粉とみの印猪



中川製作所

理工農藝化学器械一般製作

中川製作所

各種部分品直輸入

特に學生諸君の製作に御便宜を計ふ

合名鳳無線電機工業社

京都市西木下町三條下

長電話 中三三六六番

振替 大阪四四九〇七番

古本買入

書籍の御拂下げは信用ある弊店へ御用命を乞ふ

京都市九太町通河原町東入南側

電話 上二九九七番

鳥居堂

香・筆・墨・硯・紙・刷・帳・帳・帳

鳥居堂

京都市西木下町三條下

電話 中三三六六番